

# 株主の皆様へ

第 **73** 期

中間期

2023.4.1 ▶ 2023.9.30

証券コード 2676

## Contents

私たちこんな会社です！	1
連結財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
セグメント別の概況	5
TOPICS	7
連結財務諸表	9
会社の概要・株式の状況	10



# 私たちこんな会社です！

高千穂交易は1952年に創業し、これまで世界の先端商品をいち早く日本に紹介してきました。

高い技術力に裏打ちされた当社ならではのトータルソリューションで、皆様の暮らしをより豊かなものにしていきます。

## 店舗

店舗犯罪対策のソリューションや、業務効率化・省人化を実現するサービスを提供しています。



商品監視ゲート



ネットワークカメラシステム



トラフィックカウンター

- 当社は、全社員の40%超がエンジニア系の社員です。高い技術力が強みで、コンサルティングからお客様の仕様にあわせた設計、設置、障害対応まで、ワンストップでサービスを提供しています。
- 従来のモノ売りからサービス型の販売にシフトを進め、クラウドサービスの販売を強化しています。

## オフィス・データセンター

セキュリティ・ネットワークシステムを構築し、オフィスやデータセンターの高いセキュリティ環境を実現しています。



クラウド型統合セキュリティ



クラウド管理型ネットワーク



リモートアクセス



設置・保守サービス



クラウドサービス



MSPサービス

## 住宅・家庭

自動車やスマートフォン、住宅設備等、身近なところへも導入されており、より快適な社会環境・生活環境を実現しています。



5G通信モジュール



シリコンマイク



引込・衝撃吸収用ダンパー

## 工場

半導体製造装置等の産業機器向けにお客様の要望に最適な電子部品や機構部品を、技術サポートと共にソリューションとして提供しています。



電源モジュール



スライドレール



ケーブルソリューション



## 2024年3月期 第2四半期決算のポイント

### 増収増益で、上半期の上場来最高益を更新!

デバイスセグメントの半導体・電子部品を取り扱うエレクトロニクス商品類で受注残の取込が進んだことに加え、新規代理店契約の効果により、主に産業機器向けの販売が好調となったことが業績をけん引し、増収増益となりました。

### 通期見通しのポイント

- 第2四半期(累計)時点で順調に進捗も、取引先の生産計画等が不透明であることを鑑み、通期計画は据え置き
- エレクトロニクス商品類の受注残の納入、MSPサービス等のクラウドサービス&サポートセグメントを伸ばし、通期計画達成を目指す

売上高	<b>24,800</b> 百万円 (前期比 6.2%増)
営業利益	<b>1,620</b> 百万円 (前期比 17.7%増)
経常利益	<b>1,600</b> 百万円 (前期比 0.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>1,249</b> 百万円 (前期比 3.6%増)

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社第73期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の  
事業活動の概況をご報告申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 井出 尊信



## Q 上期の業績はいかがでしたか?

今年度は「ニューノーマル時代における新たな価値創造」をスローガンとした中期経営計画2022-2024の2年目にあたります。当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、コア領域における高収益事業の拡大やサービスビジネスの成長及び新事業・新ビジネスモデルの創出を図っています。このような状況の中、当上期の業績はデバイスセグメントがけん引し、増収増益となりました。売上高は前年同期比14.5%増の127億29百万円、営業利益は同22.2%増の7億13百万円、経常利益は同18.2%増の10億57百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同9.2%増の7億17百万円となりました。

セグメント別の業績では、まず、クラウドサービス&サポートセグメントについては増収減益となりました。売上高については、入退室管理システムの保守収入やMSPサービス\*1の契約

数及びクラウドサービス収入が増加し、順調に推移しました。営業利益については、メーリングシステムの保守部品の仕入コストが円安により増加したことがマイナスに影響しました。

次に、システムセグメントの業績は減収減益となりました。リテールソリューション商品類では、アパレル向けにRFIDを応用した商品管理ソリューションやセキュリティシステム、GMS向けに顔認証システムの販売が好調に推移しましたが、ホームセンター向けの商品監視システム等の販売が減少しました。ビジネスソリューション商品類では、物流システム向けRFIDや外資オフィス向け入退室管理システムの販売が堅調でしたが、メーリングシステムの販売が一部第3四半期以降にスライドとなりました。また、グローバル商品類では、タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移しましたが、発電所建設計画の遅延により防火システムが減収となりました。

最後に、デバイスセグメントの業績は増収増益となりました。エレクトロニクス商品類では、前期末の受注残の取り込みが進

み、主に産業機器向け電子部品の販売が好調に推移しました。加えて2021年に代理店契約を締結したNTCJ社<sup>\*2</sup>製品の販売が好調に推移したことや、民生機器やアミューズメント向けに新規採用が増加したことも業績に大きく貢献しました。メカトロニクス商品類では、2024年の新紙幣改刷による需要を取り込み、銀行端末向け機構部品の販売が増加しました。また、新商材「スパイラルシャフト」等の直動製品がスマート遊技機に採用され、アミューズメント向けの販売が好調に推移しました。

\*1 MSPサービス:クラウド製品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス

\*2 NTCJ社:ヌヴォトンテクノロジージャパン株式会社



## 新しく拡充した資格取得奨励金支給制度はどのようなものですか？

近年、デジタル技術の発展により、Society5.0の実現が重要な課題となっており、政府もデジタル人材の育成を重視し、官民連携のリスキリングと人への投資支援を強化しています。

当社としても、中期経営計画の戦略の一つである「DXを通じたビジネスモデルの変革」を推進しており、実現のためにはデジタル人材の育成が不可欠であると認識しています。

新しい資格取得奨励金支給制度では、奨励金の対象となる資格を従来の48種から99種に増やし、対象資格をベーシック、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの5つのランクに分類しました。資格取得時はランクに応じて10,000円から50,000円の一時的金を支給します。また、資格取得後は最長2年間にわたり、3,000円～20,000円の奨励金を月次支給し、毎月の給料に上乗せします。最高位ランクのプラチナ資格を取得した場

合の奨励金額は、最大53万円です。さらに、上限はあるものの受験や勉強にかかる費用も支給します。

「DXを通じたビジネスモデルの変革」を推進するためにはITリテラシーの向上が重要と考え、まずは全社員に「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)アソシエイト<sup>\*3</sup>」と「ITパスポート試験(IP)」の資格取得を推奨しています。すでに制度を使用して資格を取得する社員が増えてきており、将来的には保有資格者数を当社ホームページで掲載し、能力やスキルの見える化を行う予定です。資格取得のコツ等を資格取得者から紹介し、社員が持続的に学びに対するモチベーションを維持できるような企業文化の醸成も進めています。

\*3 Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Office、Excel及びPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。



## 株主還元・配当方針についてお聞かせください。

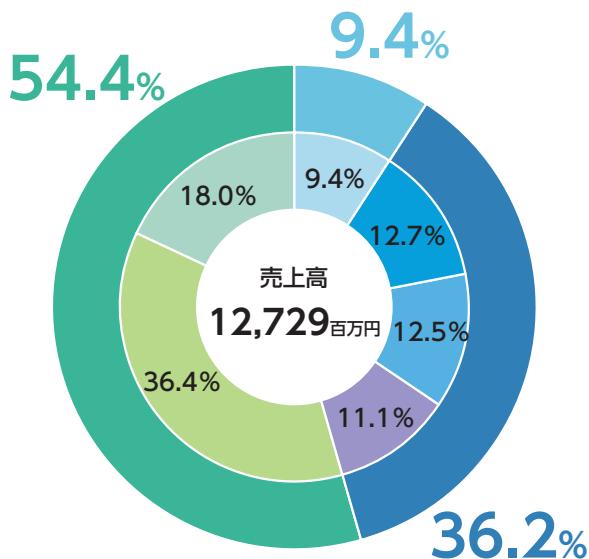
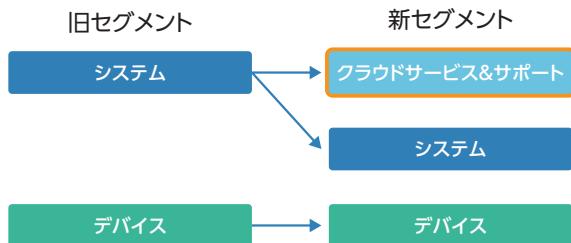
当社は、中期経営計画2022-2024において、ROEが3期平均で8%を達成するまでは配当性向100%を維持することを基本方針としております。この方針は、当社の財務健全性を総合的に勘案したうえで、資本収益性ならびにバランスシートの改善を目的とするものです。

当該方針に基づき、2024年3月期につきましては、連結業績予想に基づき、1株当たり137円(中間配当53円、期末配当84円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別の概況

2023年3月期より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサブスクリプション型サービスビジネス、保守事業を『成長事業』と位置づけ、クラウドサービス&サポートセグメントとして切り分けています。



クラウドサービス&サポート  
 ■ クラウドサービス&サポート商品類  
 ■ リテールソリューション商品類  
 ■ ビジネスソリューション商品類  
 ■ エレクトロニクス商品類  
 ■ メカトロニクス商品類  
 ■ グローバル商品類

## クラウドサービス&サポート

売上高

11億92百万円

前年同期比

+9.6%



営業利益

2億25百万円

前年同期比

△1.3%



クラウドサービス&サポート商品類(前年同期比9.6%増)

クラウドサービス(MSPサービス\*含む)、システムセグメント内の商品の保守

入退室管理システムの保守収入や、MSPサービスの契約数及びクラウドサービス収入の増加により、売上高は前年同期比9.6%増の11億92百万円となりました。営業利益は、メーリングシステムの保守部品の仕入コストが円安により増加したことが影響し、前年同期比1.3%減の2億25百万円となりました。

\*MSPサービス:クラウド製品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス

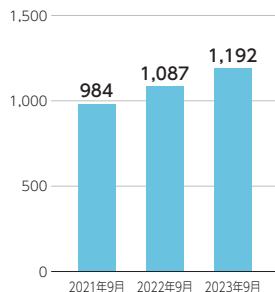
■ MSPサービス契約数推移



\*月次解約率:1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

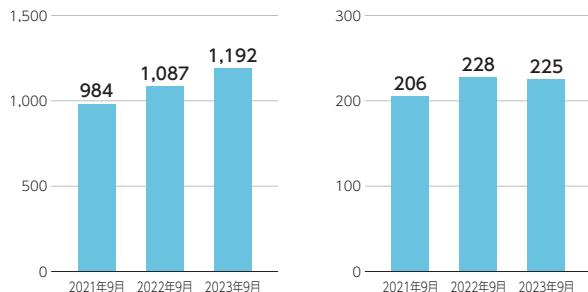
売上高(第2四半期累計)

(単位:百万円)



営業利益(第2四半期累計)

(単位:百万円)



## システム

売上高

46億13百万円

前年同期比

△2.5% ↓

営業利益

△83百万円

前年同期比

△129百万円 ↓

### リテールソリューション商品類(前年同期比1.9%減)

商品監視(万引き防止)システム、監視カメラシステム、顔認証システム、RFIDシステム、ディスプレイセキュリティシステム、システム構築

アパレル向けにRFIDを応用した商品管理ソリューションやGMS向けに顔認証システム等が好調に推移したものの、ホームセンター向けの商品監視システムが減少したことにより、売上高は前年同期比1.9%減の16億13百万円となりました。

### ビジネスソリューション商品類(前年同期比1.7%減)

入退室管理システム、監視カメラシステム、RFIDシステム、ネットワークシステム、メーリングシステム、システム構築

物流システム向けRFIDや外資オフィス向け入退室管理システムが堅調だったものの、メーリングシステムの販売が一部第3四半期以降にスライドしたことにより、売上高は前年同期比1.7%減の15億92百万円となりました。

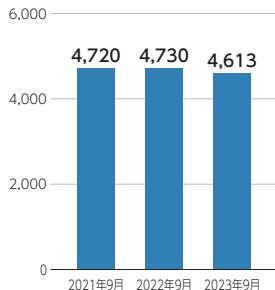
### グローバル商品類(前年同期比4.0%減)

防火システム

タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移したものの、発電所建設計画遅延により防火システムが減収となり、売上高は前年同期比4.0%減の14億7百万円となりました。

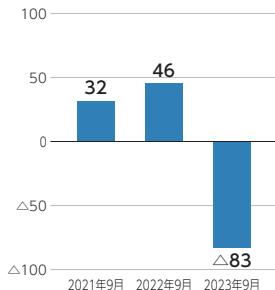
#### 売上高(第2四半期累計)

(単位: 百万円)



#### 営業利益(第2四半期累計)

(単位: 百万円)



## デバイス

売上高

69億23百万円

前年同期比

+30.6% ↑

営業利益

5億71百万円

前年同期比

+84.7% ↑

### エレクトロニクス商品類(前年同期比46.6%増)

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

前期末の受注残の取込が進み、主に産業機器向けの販売が好調に推移しました。加えて、2021年に代理店契約を締結したNTCJ社\*製品の販売が好調に推移したことや、民生機器等向けに新規採用が増加したことにより、売上高は前年同期比46.6%増の46億38百万円となりました。

\*NTCJ社:ヌヴォトンテクノロジージャパン株式会社

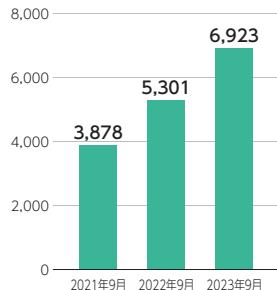
### メカトロニクス商品類(前年同期比6.9%増)

スライドレール、ガスピリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど

新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品の販売や新商材「スパイラルシャフト」等の直動製品がスマート遊技機に採用されたことによりアミューズメント向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比6.9%増の22億85百万円となりました。

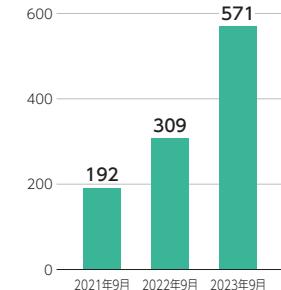
#### 売上高(第2四半期累計)

(単位: 百万円)



#### 営業利益(第2四半期累計)

(単位: 百万円)



## RFIDで業務効率化! AOKI様導入事例 ～物流から店舗までの一貫したオペレーションを実現～

紳士服・婦人服の企画販売を行う株式会社AOKI様に、店舗や倉庫での業務効率化を目的として、Jonson Controls社製のRFIDシステムを導入いただきましたので、ご紹介いたします。

RFIDとは、電波(Radio Frequency)を用いて、認識(IDentification)する技術です。読取機(リーダ)とタグを用いて通信(認識)を行っており、リーダ・タグ間に段ボールや壁などの遮蔽物があっても、電波が届く範囲であれば、複数のタグを一気にスキャンすることができます。

昨今、特に物流業・小売業では、人手不足の問題が深刻化し、IoT技術やデータ活用による業務効率化が求められています。このような課題を解決するため、RFIDに注目が集まっています。

今回、AOKI様では、物流倉庫とニュータイプスーツストア[ORIHICA]の全店舗に、RFIDシステムを導入いただきました。RFIDによって、商品が倉庫に入荷した際は、段ボールの外からでも電子タグを読み取ることができ、一括検品が可能です。店舗での検品や棚卸では、バーコードを一つ一つ読み取る必要がなくなり、作業負担を大幅に軽減できます。また、商品の位置情報も管理することができ、在庫の検索時間が短縮されます。レジ業務では、RFIDタグの一括読取によるスピーディーな会計が可能です。これにより、お客様の待ち時間が短縮され、サービス向上も期待できます。さらに、RFIDの情報は、クラウド上のデータ管理プラットフォーム[TrueVUE]に集約され、スマートフォンアプリでリアルタイムに情報を確認できます。このアプリは、AOKI様の用途に合わせてカスタマイズを行いました。



ORIHICAでの効率化をご評価いただき、今後は「AOKI」全店舗にもRFIDの導入が予定されています。当社は今後もテクノロジーをとおして、お客様の課題を解決できるよう真摯に取り組んでまいります。

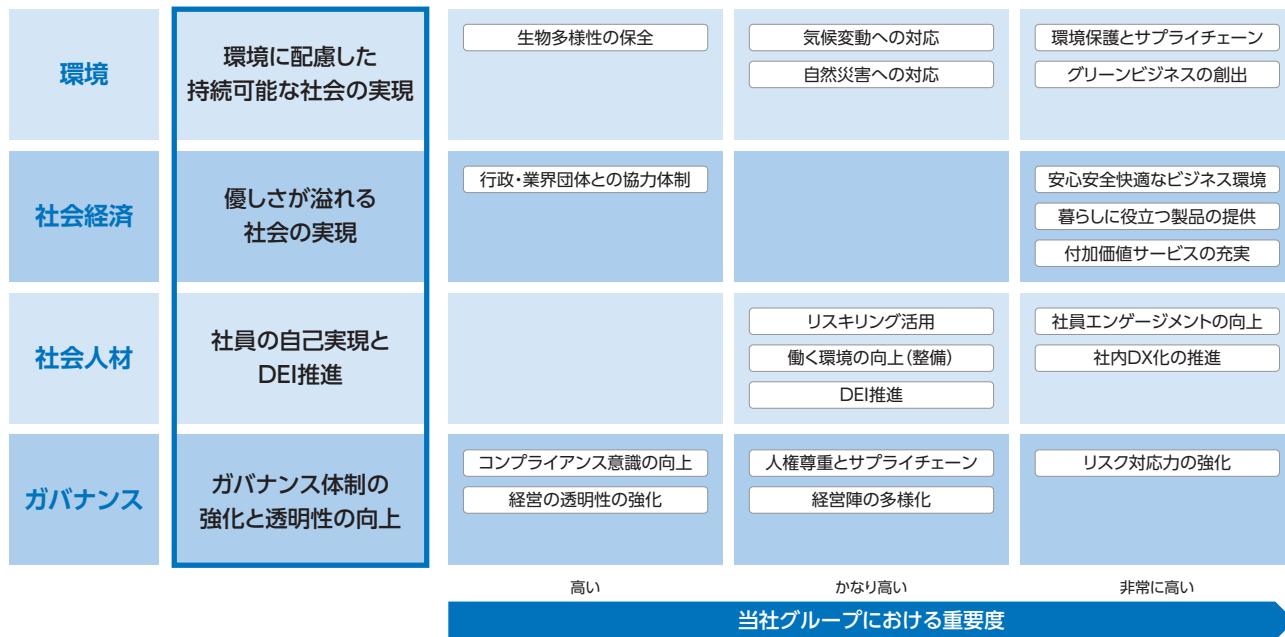
TOPICS  
02

## 高千穂交易のサステナビリティ ～4つのマテリアリティを特定～

人と地球に優しい社会の創造を実現するため、2030年度までに取り組むべき4つのサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)を特定しました。また、それらに紐づく19個のKSF(キーサクセスファクター)を重要度ごとに認識し、ステークホルダーの期待に応えるべく取り組みを行っていきます。

### 4つのマテリアリティ(重要課題)

### マテリアリティに紐づく19個のKSF



TOPICS  
03

## 個人投資家向けIRセミナー アーカイブ動画公開のお知らせ

当社は、2023年9月19日(火)に開催されました東京IPO主催の個人投資家向けIRセミナーに参加いたしました。こちらのイベントのアーカイブ動画が公開されていますので、ぜひご視聴ください。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2023年9月30日	前期 2023年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	18,335	18,302
固定資産	4,048	3,831
有形固定資産	418	446
無形固定資産	199	233
投資その他の資産	3,430	3,151
資産合計	22,383	22,133
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,038	4,952
固定負債	813	748
負債合計	5,851	5,700
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	15,211	15,478
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,377	1,375
利益剰余金	13,702	13,979
自己株式	△1,078	△1,085
その他の包括利益累計額	1,313	946
新株予約権	6	8
純資産合計	16,531	16,432
負債純資産合計	22,383	22,133

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2023年4月1日～ 2023年9月30日	前第2四半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日
売上高	12,729	11,118
売上原価	9,762	8,358
売上総利益	2,966	2,760
販売費及び一般管理費	2,252	2,175
営業利益	713	584
営業外収益	367	330
営業外費用	23	20
経常利益	1,057	894
特別利益	7	0
特別損失	－	12
税金等調整前四半期純利益	1,064	883
法人税、住民税及び事業税	321	256
法人税等調整額	25	△30
法人税等合計	346	225
四半期純利益	717	657
親会社株主に帰属する 四半期純利益	717	657

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2023年4月1日～ 2023年9月30日	前第2四半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,262	△732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△986	△372
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	132
現金及び現金同等物の増減額	358	△1,221
現金及び現金同等物の期首残高	4,509	5,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,867	4,387

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 会社概要

設立	1952年3月
資本金	12億921万円
従業員数	244名(単体)、486名(連結)
取引金融機関	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行、りそな銀行
主要業務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、メールシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	<a href="https://www.takachiho-kk.co.jp/">https://www.takachiho-kk.co.jp/</a>

## ■ 取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員	井出 尊 信
取締役兼執行役員	平田 嘉 昭
取締役兼執行役員	植松 昌 澄
取締役兼執行役員	辰己 一 道
取締役	鶴岡 通 敏※
取締役	串間 和 彦※
常勤監査役	横戸 憲 一
監査役	大塚 康 徳※※
監査役	千葉 彰 彰※※
監査役	木崎 孝 孝※※

(注) ※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

## ■ 執行役員

執行役員	高山 博 喜
執行役員	市川 大 輔
執行役員	田中 毅 則
執行役員	井藤 政 樹

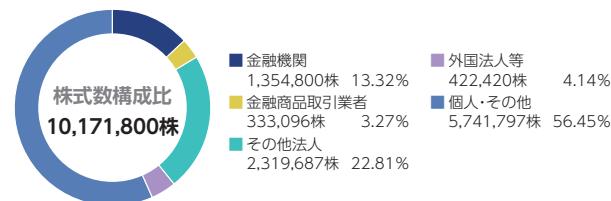
発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,171,800株
株主数	15,298名

## ■ 大株主

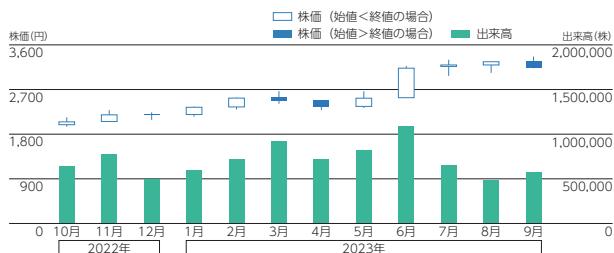
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マースグループホールディングス	804	8.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	469	5.13
セコム株式会社	450	4.92
株式会社みずほ銀行	300	3.29
株式会社マーストーケンソリューション	265	2.90
明治安田生命保険相互会社	216	2.36
ヒューリック株式会社	200	2.18
高千穂交易従業員持株会	197	2.15
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT(常任代理人 香港上海銀行)	168	1.83
SMBC日興証券株式会社	158	1.73

(注) 1. 当社は自己株式1,038,391株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。なお、自己株式には役員向け株式給付信託に係る当社株式57,900株を含めておりません。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。  
2. 上記マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は469千株であります。

## ■ 株式分布状況



## ■ 株価・出来高の推移



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金  
受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金  
受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711  
(通話料無料)  
〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のホームページより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

インターネットアドレス：<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL  
<https://www.takachiho-kk.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株

## 株主様アンケート結果のご報告

前号で実施させていただいたアンケートにつきましては、多くの株主の皆様よりご回答をいただき、心より御礼申し上げます。お寄せいただきましたご意見・ご感想は、今後のIR活動に活かしてまいります。

### ご意見のご紹介

- 株主優待にとっても満足しています。これからも続けてください。
- 社員株主化の取り組みに期待が持てる。プライム市場上場維持基準適合への施策が素晴らしい。
- 株主還元だけでなく、社員の働きやすい環境への取り組みに好感が持てた。これからも応援していきたい。
- 収益力をさらに向上させ、ROEは10%以上を目指してください。
- 事業が好調なうちに、次の成長事業を育ててください。
- 取扱品目が時流に合っている。知名度を高める取り組みを積極的に行ってください。

## 株主優待制度

毎年3月末時点で100株以上を所有している株主様に保有株式数に応じ「お米ギフト券」をお送りしております。



保有株式数	優待内容
100株以上200株未満	お米ギフト券 2kg分
200株以上300株未満	お米ギフト券 5kg分
300株以上	お米ギフト券 10kg分

**TK** 高千穂交易株式会社  
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目6番1号  
TEL 03-3355-1111 (代)  
URL <https://www.takachiho-kk.co.jp/>

UD  
FONT

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC  
[www.fsc.org](http://www.fsc.org)  
FSC® C013080

VEGETABLE  
OIL INK